



## 平成18年3月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）

平成18年2月3日

上場会社名 関西電力株式会社

(コード番号：9503 東証・大証・名証第1部)

(URL <http://www.kepcoco.jp>)

問合せ先 代表者役職・氏名 取締役社長 森 詳介  
 責任者役職・氏名 経理部長 杉本 康

TEL：(06) 6441 - 8821

### 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無  
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有 (6ページ参照)  
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有 連結(除外) 6社

### 2. 平成18年3月期第3四半期財務・業績の概況(平成17年4月1日～平成17年12月31日)

#### (1) 経営成績(連結)の進捗状況

(百万円未満切り捨て)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年3月期第3四半期	1,876,846	2.4	285,253	18.5	223,097	24.0	146,132	38.8
17年3月期第3四半期	1,922,354	3.4	349,950	4.8	293,398	35.0	105,259	15.0
(参考)17年3月期	2,613,483		386,939		297,801		69,739	

	1株当たり 四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
18年3月期第3四半期	156	91	156	84
17年3月期第3四半期	111	79	108	78
(参考)17年3月期	73	83	72	68

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同期増減率を示す。

#### [経営成績の概況]

当社グループの主たる事業である電気事業では、夏場の平均気温が前年に比べて低く推移し冷房需要が減少した反面、11月から12月にかけての平均気温が前年に比べて低く推移し暖房需要が増加しました。また、産業用需要では、設備投資の増加や輸出の持ち直しがみられたものの、企業の生産活動はおおむね横ばいとなりました。その結果、総販売電力量は、1,088億3千万キロワット時と、前年同期を0.6%上回りました。

収入面では、平成17年4月より実施した電気料金の引下げの影響により、電灯電力料収入が減少したことなどから、売上高は1,876,846百万円と、前年同期に比べて45,507百万円の減収(2.4%)となりました。

一方、支出面では、原油価格の高騰などにより火力燃料費が増加したことや、修繕費が増加したことなどにより、営業費用は1,591,593百万円と、前年同期に比べて19,189百万円の増加(+1.2%)となりました。

この結果、当四半期の営業利益は285,253百万円と前年同期に比べて64,696百万円の減益(18.5%)、経常利益は223,097百万円と前年同期に比べて70,300百万円の減益(24.0%)となりましたが、四半期純利益は146,132百万円と特別損失を計上した前年同期に比べて40,873百万円の増益(+38.8%)となりました。

#### (参考) 販売電力量

(百万 kWh、%)

	18年3月期 第3四半期	17年3月期 第3四半期	前年同期比
電 灯	34,263	33,338	102.8
電 力	74,562	74,819	99.7
計	108,826	108,157	100.6

(注)「電力」には、特定規模需要を含む。

## (2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第3四半期	6,887,872	1,763,569	25.6	1,903 26
17年3月期第3四半期	6,985,800	1,681,790	24.1	1,786 44
(参考)17年3月期	6,857,871	1,646,686	24.0	1,749 65

## [ 財政状態の概況 ]

当四半期での設備投資額は、前年同期に比べて7,885百万円減少（4.1%）の184,196百万円と、減価償却費（298,781百万円）を下回る投資額となりましたが、使用済燃料再処理等積立金の拠出を行ったことなどにより、当四半期末の総資産は、前年度末に比べて30,000百万円増加（+0.4%）の6,887,872百万円となりました。

また、当四半期末の有利子負債残高は、創出したフリー・キャッシュ・フローを有利子負債の削減に優先的に充当した結果、前年度末に比べて99,918百万円減少（2.9%）の3,389,945百万円となりました。

当四半期末の株主資本は、配当金の支払いや自己株式の買受けを行ったものの、四半期純利益の計上により、前年度末に比べて116,883百万円増加（+7.1%）の1,763,569百万円となり、株主資本比率は25.6%と、前年度末に比べて1.6%向上いたしました。

なお、自己株式の買受けは、株主利益の増進と資本効率の向上等を図ることを目的として、買受株数1,411万株、総額32,008百万円にて当四半期末までの間に実施しております。

これらの結果、1株当たりの株主資本は前年度末に比べて153円61銭増加し、1,903円26銭となりました。

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年3月期第3四半期	400,013	216,466	180,035	71,471
(参考)17年3月期	691,253	257,284	451,886	67,898

(注) 当期より四半期の連結キャッシュ・フローの状況を開示しているため、前年同四半期については記載していない。

## 3. 平成18年3月期の連結業績予想（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

平成18年3月期の連結業績予想につきましては、電気事業における通期の総販売電力量が1,440億kWhと平成17年11月に公表いたしました想定値（1,426億kWh）を上回る見通しであるなど、最近の業績の動向を踏まえ、売上高、経常利益及び当期純利益の予想数値を変更いたしました。

## 平成18年3月期の連結業績予想

	売上高	経常利益	当期純利益
	億円	億円	億円
通期	25,200	2,100	1,330

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 143円54銭

以上